

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 4年 2月 28日

八戸学院幼稚園

1 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・心の豊かな子
- ・自分の考えをもてる子

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・子ども一人一人の実態をとらえ、具体的な取組の実践を通して教育目標の一つである「自分の考えをもてる子」の具現化を目指す。

3 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	具体的な取組内容及び取組状況	評価
1	会話の充実	<p>【具体的な取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者が子どもの気持ちや考えを汲み取って代弁したり言葉を補ったりしながら会話につなげる。 ・子ども同士が話をする場面（年齢や発達の段階に応じたもの）を設け、お互いに考えを話したり聞いたりする活動をさせる。 <p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な正しい言葉や挨拶、気持ちを表す言葉などを用いて子どもとの会話に心がけている。 ・子ども同士の会話が成立するように、保育者が子どもの思いを汲み取り、代弁や仲介などを行っている。 ・自分の思いを通したいという子どもの思いに共感しながら、相手の気持ちを考えたり寄り添ったりすることの大切さを個々の成長や経験を踏まえて感じさせていく必要がある。 	A
2	絵本や紙芝居に親しむ活動	<p>【具体的な取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階や興味関心をとらえて絵本を読み聞かせたり紙芝居をしたりする。 ・子どもが絵本に親しみをもち好きな絵本を選んで読めるように、本をそろえたり紹介したりする。 <p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日読み聞かせの時間を設けたり、絵本を手に取りやすい環境にしたりすることで、子どもが絵本や紙芝居、お話の世界に興味を持ち、自ら絵本を読む機会が増えている。 ・絵本や紙芝居の感想を述べたり、絵を描いてそのストーリーを考えたりする子が出てきている。 	B

3	「自己決定の場」の設定	【具体的な取組内容】 ・子どもが選択できるように複数の選択肢を用意した活動を工夫する。 ・子ども一人一人が興味・関心をもって楽しんで活動できるような環境づくりを行う	B
		【取組状況】 ・様々な場面で子どもが選択できるように工夫し、それを尊重するようにしている。 ・子どもが自分の考えや思いを素直に出せるように、さらに活動内容を工夫したり環境を整えたりする必要がある。 ・自己中心的な行動については、子どもの気持ちに寄り添いながら諭していくことが必要である。	

4 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、より一層子どもが会話を楽しんだり絵本に親しんだりするとともに、自分の思いや考えをもって活動できるような教育・保育を実践することができた。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取組方法
1	環境構成の工夫	子どもの興味・関心に応じた自発的な自由遊びを大切に環境構成を工夫する。
2	遊びや活動内容の工夫	五感を使った遊びや子ども同士がかかわりながら試行錯誤できるような活動を工夫する。

6 学校関係者評価委員会の評価

- ・子どもたちが、様々な遊びを通して生き生きと生活する様子がみられた。
- ・季節に応じた自然とのかかわりや子ども同士のかかわりなど、「かかわり」を大切に活動を行っている。
- ・「自分の考えをもてる子」の育成に向けて具体的な取組を計画・実践し、学期ごとに評価・改善して成果を上げている。
- ・「自己決定」や自分の意見を述べることは大事なことであるがなかなかできない。幼児期から意識して育成していくことが大切である。
- ・絵本の読み聞かせ等を通じて絵本に親しませることは、国語力の育成にもつながるので、継続した取組を期待したい。
- ・幼稚園の取組や子どもの活動の様子を保護者に発信し、保護者の理解や協力が得られるよう努めることが大切である。